

DNAで森羅万象を解き明かせ!!

二重らせんがひも解く生命の謎 III

2026年8月1日 (土) 13:00-17:10

対象: 中学1年～高校3年(一般の方も参加可能)

参加費: **無料!**

開催形式: Zoomを使用したオンライン形式

定員: 250名

事前参加申し込み制、

事前参加申し込み締め切り: 2026年7月31日17:00

出入り自由

主催 日本DNA多型学会

後援 自然史学会連合

協力 朝日学生新聞社



プログラム

- 13:00～ 開会の挨拶 猿渡敏郎 (東京大学大気海洋研究所)
- 13:05～ DNAで読み解く! 果物と花のヒミツ
～ゲノム解析で探る園芸作物の世界～
富永晃好 (静岡大学農学部生物資源科学科)
- 13:45～ 雪解け水の妖精 ―キタホウネンエビ類のDNA解析―
北野 誉 (茨城大学理工学研究科)
- 14:25～ 日本産イワナの分子系統と氷期間氷期の関係
荒井靖志 (成蹊中学高等学校)
- 15:05～ 壊れたDNAでどこまでわかる? ―DNA鑑定の“限界”に挑む―
中尾精希 (大阪医科薬科大学)
- 15:45～ 理科と社会、実はつながっていた!? DNAで読む人類の物語
中伊津美 (東京大学大学院理学系研究科)
- 16:25～ ブレイクアウトルーム
富永晃好先生と植物ゲノムを語る部屋
北野 誉先生とDNAからみる進化を語る部屋
荒井靖志先生とイワナなどの溪流魚と少しかけ釣りを語る部屋
猿渡敏郎先生と深海魚や海洋生物を語る部屋
西堀正英先生と環境DNAを使った野生動物の生態を語る部屋
中尾精希先生とDNA鑑定の世界をのぞいてみる部屋
中伊津美先生とSNPが教えてくれる“違い”を語る部屋
- 16:55～ 閉会の挨拶 猿渡敏郎 (東京大学大気海洋研究所)

事前参加申し込みは
こちらから



<https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQL5f4h68cMOHzsW-Ax7lXmtmJvN3pqwt941gCGHPClUhsGG50GQ/viewform?usp=dialog>

コンピーナー (あいうえお順)

- 北 夕紀 (東海大学 生物学部 海洋生物科学科)
- 猿渡敏郎 (東京大学大気海洋研究所・
成蹊学園サステナビリティ教育研究センター)
- 高橋遥一郎 (筑波大学 医学医療系 法医学)
- 奈島賢児 (日本大学 生物資源科学部)
- 西 健喜 (筑波大学 医学医療系 法医学)
- 門田有希 (岡山大学 学術研究院環境生命科学学域 (農))
- 眞鍋 翔 (関西医科大学 法医学講座)

問い合わせ先

東京大学大気海洋研究所

千葉県柏市柏の葉5-1-5

猿渡敏郎

dnapolychuukou@gmail.com